

広報



4月号

11

2015年
(平成27年)
No.733
月号

CONTENTS

- 02 Pick Up
- 07 トピックス
- 08 市政の動き
- 11 上十三・十和田湖広域定住自立圏情報
- 12 マックチャンネルガイド
- 14 情報ねっと
- 20 三沢魂

ハロウインフェスティバル in Misawa 2015 10月 17日

恒例の仮装パレードには、今年多くの人々が趣向を凝らした思い思いの仮装で参加。子どもから大人までがイベントを楽しんでいた。

ハロウインフェスタ in Misawa 2015



10月17日(土)、『ハロウインフェスタ in Misawa 2015』が開催された。延べ1万人の来場者、仮装パレード参加者は約500人。今年も工夫が凝らされた衣装やメイクを施した参加者が、パレードが行われた中心商店街、仮装コンテストが開催されたアメリカ広場を埋め尽くした。今年の仮装コンテストの1位は「双子のミイラ」が受賞。当たり前のようにハロウインを楽しむ人々の姿、これは日米の文化が交差する三沢ならではの光景だ。



総合防災訓練

三沢市総合防災訓練

10月17日(土)、国際交流教育センター、

三沢小学校およびこの周辺を主会場に三沢市総合防災訓練が開催された。

この日行われた訓練は、午前9時

に青森県東方沖を震源とするマグニチュード9.0の地震が発生。三沢市では、震度6強を観測。市内各地で建物が倒壊及び火災が発生し、電力・水道・通信などライフラインに甚大な被害が発生。また、太平洋沿岸に大津波警報が発表されたとの想定で実施されたもの。

想定災害の発生後、即座に市に『災害対策本部』が設置され、航空自衛隊や三沢警察署、アマチュア無線クラブなどの関係機関の協力によって、市内の被害情報が集約された。

また、市内の被災状況の把握には、航空自衛隊第3航空団の協力により、上空を航空機が旋回し、被害状況について、偵察が行われた。

この後、被災者の救助をはじめ、火災への対応や被害に遭ったライフラインの応急復旧などの訓練が行われた。

避難所の設置・運営訓練では、小さな子どもから、お年寄りまでが集まる

避難所をいかに運営するかについて参加者が意見交換。参加者は行方不明者を把握するための名簿作成や、障がいや病気を患っている避難者を受け入れる避難所設営の難しさを受け入れる。

市内では、町内会や防災組織などのさまざまな団体も時を同じくして訓練を実施。多くの市民が防災意識を持ち行動できる

2人の尊い命が奪われた東日本大震災が発生してから4年半が過ぎた。当時の記憶を風化させることなく、市民一人一人が防災意識を持ち行動できる防災対策が必要となつていて。



災が発生してから4年半が過ぎた。当時の記憶を風化させることなく、市民一人一人が防災意識を持ち行動できる防災対策が必要となつていて。



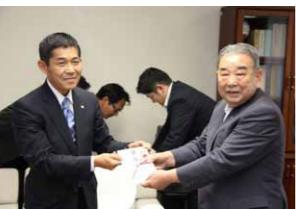
大和リース(株)が可搬型蓄電池を寄贈

9月18日

大和リース株式会社（本社：大阪市）の浮穴浩一取締役常務執行役員、下山俊晴青森営業所統括所長ら4人が市長室を訪れ、種市市長へ可搬型蓄電池1基を寄贈しました。

市の誘致企業『大和リース株式会社三沢デボ』は、昭和48年から操業。事業所が所在している自治体に対し蓄電池等を寄贈しています。今回寄贈された可搬型蓄電池『パワーライ』は、発火などの危険性が無く、発電時の騒音が発生しないことから、市担当者は、災害時の対策会議等の電力供給に活用したいと説明しました。

寄贈を受け、種市市長は「寄贈に大変感謝しています。災害発生時に活用させていただきたい」と感謝の言葉を述べていました。



東北電力(株)、(株)ユアテックの三沢営業所が防犯灯を寄贈

9月28日

東北電力(株)三沢営業所の斗沢良重所長、(株)ユアテック三沢営業所の中沢正光所長ら4人が市長室を訪れ、種市市長へLED防犯灯9基を寄贈しました。

明るいまちづくり、安全・防犯に対する自治体への支援・協力活動の一環として、両営業所では昭和40年から防犯灯の寄贈を続けており、これまで市に寄贈した数は今回を含め450基。今回寄贈された9基は、前平地区への新設として6基、桜町地区への交換として3基が用いられます。

目録を受け取った種市市長は「夕暮れ時の事故防止など、三沢の防犯体制の強化にも役立てたい。ありがとうございました」と応えました。



三沢市防犯協会の3氏が全国表彰などを受賞

10月6日

三沢市防犯協会の横田和義特別顧問、大坂弘副会長、梅津善吉支部長の3人が市役所を訪れ、種市市長に全国防犯協会連合会長表彰など各賞の受賞を報告しました。

横田和義氏は平成12年4月から平成26年3月まで三沢市防犯協会会長を務め、市の防犯体制の強化に長年にわたり貢献。大坂氏は、昭和53年12月、梅津氏は平成15年6月に同協会へ入会し、長年の防犯活動の功績が讃えられたものです。

3人は表彰状を手に受賞内容を報告。種市市長は「長年にわたり貢献いただき、心から感謝します」と述べました。これに対し、横田氏は「今後も地域の防犯に貢献していきたい」と力強く語りました。



青森県クリーニング業環境衛生同業組合三沢支部がクリーニング券を贈呈

9月16日

市内のクリーニング店12店舗で構成する青森県クリーニング業環境衛生同業組合三沢支部の山本昭秀支部長ら役員3人が市総合社会福祉センターを訪れ、小泉富男健康福祉部長にクリーニングギフト券100枚（5万円分）を贈呈しました。

寝たきりの高齢者が清潔で気持ちよく休めるように、寝具などをクリーニングする際に役立てて欲しいと、9月29日のクリーニングの日に合わせて同組合が続けるクリーニングギフト券の寄付。これまで25回にわたりギフト券などを贈呈しています。今回寄付されたギフト券は地域包括支援センターを介して、寝たきりの高齢者へ贈られる予定です。



贈呈を受け、種市市長は「寄贈に大変感謝しています。災害発生時に活用させていただきたい」と感謝の言葉を述べていました。

Pick Up

各コンクール入賞者を発表します



小学校6学年

- 金 藤田 鈴奈（岡三沢）
銀 鈴木 仁那（岡三沢）
銅 松園 さくら（木崎野）
佳 三村 佳央里（三川目）
佳 吉田 幸生（古間木）



中学校1学年

- 金 月館 美羽（第二中）
銀 三村 彩也香（第二中）
銅 榎田 郷乃（第二中）
佳 高橋 里佳（第二中）
佳 净法寺 涼香（第二中）



中学校2学年

- 金 小比類巻 美月（第一中）
銀 富田 桃花（第二中）
銅 甲地 洋介（第一中）



中学校3学年

- 金 大山 迪咲（第二中）
銀 高橋 春佳（第二中）
銅 榎田 郁海（第二中）

習字の部（小・中学校）

小学校1学年

- 金 今野 愛夏（岡三沢）
銀 佐藤 優妃（上久保）
銅 坂岡 優（三沢）
佳 水上 仁温（岡三沢）

小学校2学年

- 金 平野 花奏（古間木）
銀 木津 みなみ（木崎野）
銅 種市 圭佑（三沢）
佳 大屋 温（岡三沢）
佳 浪岡 優成（上久保）

小学校3学年

- 金 附田 雪花（古間木）
銀 花田 黎華（三川目）
銅 榎 瑞葉（岡三沢）
佳 相場 未羽（上久保）
佳 磯山 咲太（木崎野）

第13回 花と緑の写生コンクール

小学校低学年の部



小学校高学年の部



中学校の部



花と緑の写生コンクールと花壇コンクールに応募された全ての作品・写真を展示します。

期間 11月18日（水）～25日（水）

10:00～20:00（25日は13:00まで）

場所 ミス・ビードルプラザ

- ★問い合わせ先 三沢市公園緑化公社（☎ 51-2820）



最優秀賞

小学校の部

- 最優秀賞 おおぞら小学校
優秀賞 古間木小学校
優良賞 三川目小学校
審査員特別賞 三沢小学校



最優秀賞

中学校の部

- 最優秀賞 第三中学校
優秀賞 第二中学校
優良賞 第一中学校

千葉和子氏が青森県健康づくり事業功労者等表彰を受賞

9月16日

平成7年に三沢市保健協力員に就任してから、20年にわたり地域住民の健康づくりに取り組んでいる功績が認められ、三沢市保健協力会の会長を務める千葉和子氏が、『青森県健康づくり事業功労者等表彰』を受賞しました。

千葉氏は保健協力員として検診受診の呼びかけを積極的に行っているほか、保健協力会で得た知識をもとに地域で栄養教室や生きがいづくり教室などを開催。地域全体に健康知識の普及啓発を図るなど、地域と行政とつなぐ大切な役割を果たしてきました。青森市のラ・プラス青い森で行われた授賞式では、三村知事から表彰状を授与されました。



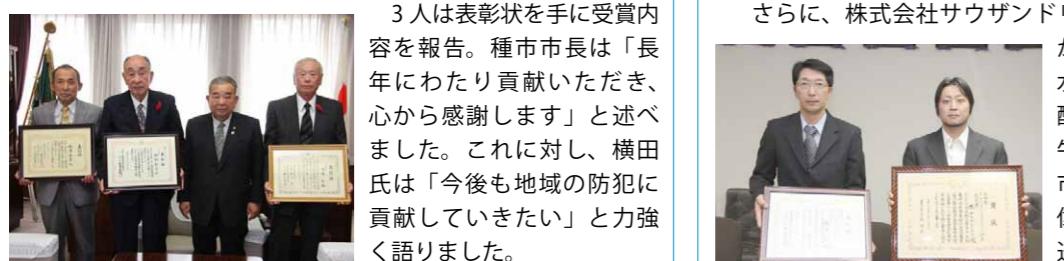
『第12回青森県乳用牛共進会』入賞を報告

9月18日

おいらせ農業協同組合酪農部の高橋健仁部会長はじめ、メンバー7人が8月29日に七戸町の青森県家畜市場で開催された『第12回青森県乳用牛共進会』において、多くの受賞を果たしたことを種市市長へ報告しました。

おいらせ農業協同組合酪農部は、同共進会へ15頭を出品。経産・未経産や年齢によって分けられた8部類のうち、4部類で最高位のチャンピオン賞を受賞しました。

さらに、株式会社サウザンドリーフ 代表取締役千葉準一氏が本大会の名誉賞である農林水産大臣賞を3年連続で受賞。酪農部メンバーは、入賞した牛のパネル写真を持って種市市長に説明。種市市長はこの偉業を祝福し、称賛の言葉を送りました。



防災行政無線による 情報伝達訓練を実施します

防災管理課（内線 253）

この訓練は、災害や武力攻撃などに備え、全国瞬時警報システム（Jアラート）※を用いて全国一斉に実施される情報伝達訓練です。三沢市では市内全域に設置されている防災行政無線から「これはテストです」などの音声が放送されます。市民の皆さんには、実際の災害とお間違えないようご注意ください。

実施日時 11月 25日（水） 11:00 ごろ
実施場所 市内全域

※全国瞬時警報システム（Jアラート）とは？

地震・津波の発生や武力攻撃などの緊急情報を瞬時に住民の方々へお伝えするシステムです。

『除雪ボランティア』を募集します

土木課（内線 286・287）

市では、町内の歩道や集会施設、自力での除雪作業が困難な高齢者世帯宅などの除雪作業をお手伝いする町内会やボランティア団体を募集しています。道路の寄せ雪や、歩道のある交差点などの除雪作業にボランティアで参加していただける企業も募集します。

※町内会や除雪ボランティア団体には、小型除雪機を貸し出します。

申し込み・問い合わせ先 土木課（内線 286・287）

農業委員会からのお知らせ

農業委員会事務局（内線 255、256）

▶農地の売買・転用等は許可が必要です

農地の売買・貸し借り・転用等をするには、農業委員会または、県知事の許可を受けなければなりません。

<input type="checkbox"/> 農地法第3条許可	農地を農地として所有権・賃貸借権等の権利の移転・設定をする場合
<input type="checkbox"/> 農地法第4条許可	自分の農地を農地以外の地目に転用する場合
<input type="checkbox"/> 農地法第5条許可	売買・賃借等により譲受人が農地以外の地目に転用する場合

※農地転用等の許可申請受付は、毎月 10 日が締め切りとなっています。

▶農地移動適正化あっせん事業について

農業委員会では、農用地区域内にある農地を対象に売りたいという出し手希望農家と、買いたいという受け手希望農家の間に立って、あっせん・調整を行います。

なお、売渡希望農家を農業委員会事務局（市役所別館2階）前にて掲示していますので、購入希望者はご覧ください。

▶農業者年金に加入しましょう

農業者年金は、農家にもサラリーマン並みの年金をという農業者の強い希望を受けて、農業者の老後の生活の安定と農業の担い手確保を図るためにつくられた年金制度です。

加入できる基本的な要件としては、20歳から 59 歳までの国民年金の 1 号被保険者の方で、年間 60 日以上農業に従事する方です。加入をお考えの方や、興味のある方は、農業委員会事務局までお問い合わせください。

問い合わせ先 農業委員会事務局（内線 255、256）

母子・父子および寡婦福祉資金貸付の平成 28 年度予約受付を開始します

家庭福祉課（☎ 51-8772）

来春、学校などに進学する予定の子どもがいる母子・父子家庭または寡婦家庭の生活の安定を目的に、修学資金、修業資金、就学支度資金の予約を受け付けます。

貸付対象 母子・父子または寡婦家庭で、平成 28 年 4 月から小・中学校、高等学校、高等専門学校、短期大学、大学、各種専門学校等に入学する子どもがいる世帯

受付期間 11月 17 日(火)～平成 28 年 1 月 29 日(金)

問い合わせ先

上北地域県民局 福祉こども総室（☎ 0176-62-2145）

成人式開催のお知らせ

生涯学習課（内線 369）

日 時 平成 28 年 1 月 10 日（日）13:00～（受付 11:30）
場 所 公会堂

対象者 三沢市在住または出身で、平成 7 年 4 月 2 日から平成 8 年 4 月 1 日までに生まれた方

※市内在住者には、はがきでご案内します。三沢市出身者で他市町村に在住し、参加を希望する場合は、事前にご連絡ください。

申し込み・問い合わせ先 公会堂（☎ 53-8711）

事業者の皆さん マイナンバーの準備はお進みですか

情報システム課（内線 506）

マイナンバーの導入準備は、従業員を雇用している全ての事業者に必要です。以下の流れに沿って準備を進めてください。

1. マイナンバーを扱う担当者を決めましょう
2. マイナンバーを従業員から取得する際は、使用目的を伝え、番号の確認と身元の確認をしましょう。
3. マイナンバーが記載された書類は、カギがかかる棚や引き出しに保管しましょう。
4. ウィルス対策ソフトを最新版にするなど、セキュリティ対策を行いましょう。
5. 退職や契約満了で従業員のマイナンバーが必要なくなったら、確実に破棄しましょう。
6. 従業員にマイナンバー制度周知のための研修や勉強会を行いましょう。

問い合わせ先 マイナンバーコールセンター（☎ 0570-20-0178）9:30～22:00（土日祝日・年末年始を除く）

マイナンバーキャラクター
マイちゃん

マイナンバー制度に関する臨時窓口

情報システム課（内線 506）

三沢市では 11 月上旬から下旬にかけてマイナンバーの通知カードが郵送されます。これに伴い、質問の受付や、個人番号カードを交付するための臨時窓口を開設しています。

期 間 平成 28 年 3 月 31 日（木）まで
(土日祝日・年末年始を除く)

時 間 8:15～17:00

場 所 三沢市役所市民課となり

問い合わせ先 情報システム課（内線 506）

わんぱく家族米を支給します

家庭福祉課（☎ 51-8772）

市では、子どもをたくさん育てている家庭に地元産米を贈り、子育てを支援します。

対象世帯 10 月 1 日時点で市内に住所があり、平成 9 年 4 月 2 日から平成 27 年 10 月 1 日までに生まれた子どもを 3 人以上育てている世帯

支給する米の量（1 世帯につき）

子 3 人の世帯	45kg
子 4 人以上の世帯	60kg

申請方法 「引換券」の交付申請が必要です。対象世帯には、個別郵便で詳細をお知らせします。

申請期間 11 月 2 日（月）～平成 28 年 1 月 29 日（金）

支給期間 11 月 9 日（月）～平成 28 年 3 月 31 日（木）

問い合わせ先 家庭福祉課（☎ 51-8772）



大塚 英久 さん

南町在住の74歳。自衛官在職中から中学生やママさんバレーを指導し、退職後の平成7年からは木崎野小学校バレーボールクラブの監督を務める。三沢市バレーボール協会顧問。



MISAWA SPIRITS
地域で頑張る人々を紹介します

「体力と考える力をスポーツで育む」

**20年間の指導で、夏の全国大会に10回出場
木崎野小学校バレーボールクラブ 大塚英久 監督**

大塚さんが同クラブの監督に就任してから20年。当初は、津軽地方の小学校が強く市内小学校が全国大会に出場することはできなかった。そこで、大塚さんは強豪チームの練習を視察したり各地で開催される練習会に足を運びながら指導方法を考案。足の運びや体の向きなどプレーの基礎を根気強く丁寧に教えながら、選手が持つ能力を最大限發揮できるよう一人一人としつかり向き合うことを心掛けた。練習では、ボールに触る時

子どもの意欲を引き出す

小学生の授業が終わりクラブ活動の時間が始まろうとする15時30分。木崎野小学校バレーボールクラブの監督を務める大塚英久さんは、子どもたちが来る前から一人でバレーボールコートにネットを張り練習の準備を整える。「少しでも練習の時間を確保したくて」と話す大塚さん。平成7年に監督となつてからずつと続けてきた。

スポーツの力

「1番になりたかったら、1番の努力をしなければならない。選手と一緒に考え日々努力することが大切」と語る大塚さんが目指すのは、バレーボールを通じた体力の向上はもちろん、時間の有効な使い方を学んだり、仲間と創意工夫して練習方法を考え試合に臨み、考える力と判断力を育むこと。子どもの健全な成長に欠かせないスポーツの楽しさや魅力を伝えるため、そしてプレーで輝く笑顔のために、今日も大塚さんは温かいまなざしで子どもたちと向き合っている。

監督から『ネット張り』 小学校の授業が終わりクラブ活動の時間が始まろうとする15時30分。木崎野小学校バレーボールクラブの監督を務める大塚英久さんは、子どもたちが来る前から一人でバレーボールコートにネットを張り練習の準備を整える。「少しでも練習の時間を確保したくて」と話す大塚さん。平成7年に監督となつてからずつと続けてきた。

間を増やすために選手同士でトスやレシーブを交換。大塚さんは要所でプレーを止め、選手が納得するよう理由を説明しながら指導する。さらに、東北地方の強豪チームと積極的に交流試合を実施。試合の勝ち負けを通して競争意識が芽生えた選手たちは、練習方法だけでなく準備やあいさつに至るまで対戦相手から学び実践するようになった。

人口と世帯数 －9月末現在－ ※（）内は前月との増減比較

■人口 41,050人（-49人）・男 20,153人（-8人）・女 20,897人（-41人） ■世帯数 18,929世帯（+20世帯）